

令和7年度 上尾市水道事業実動班 活動報告

上尾市水道事業では、近年頻発する大規模地震や風水害への備えとして、災害対応に重点を置いた「実動班」を、令和2年3月に編成しました。

「実動班」では、大規模災害を想定した各種の講習会や訓練を重ねることで、迅速な災害対応ができる職員を育成しています。

今回は、4月、5月に行った訓練内容について報告します。

新任実動班員を対象として給水車操作訓練を実施しました

令和7年5月1日、給水車操作訓練を実施しました。訓練には、新任の職員9名が参加し、実際の操作手順や安全な水を検査する方法など学びました。

給水車の活用は、災害や事故などによって断水した地域へ応急給水を行うための有効な手段です。いざという時、迅速に対応できるよう、日頃から準備の大切さを確認しました。



1. 給水車の説明



2 給水車へ飲料水を注水



3. 水質検査の説明



4. 飲料水の配付作業

漏水修繕訓練（サドル付分水栓）を実施しました

令和7年5月15日に、サドル付分水栓を用いた漏水修繕訓練を行いました。漏水箇所手前にサドル付分水栓を仮設置し、徐々に横移動させ、漏水箇所を覆うことができる位置で固定することにより、止水する訓練です。

漏水箇所の形状にもよりますが、サドル付分水栓は水道用資材であり、比較的入手しやすいため、有効な止水方法です。



サドル付分水栓

※サドル付分水栓は、主に道路に埋設されている水道管（配水管）から宅地等への給水管へ分岐する際に用いられる、水道用資材です。



サドル付分水栓を漏水箇所に被せるように動かしていきます。



漏水を想定した配水管から水が吹きだしています。



サドル付分水栓が固定されることによって漏水が止まりました。

《その他訓練》

5月29日、水道管洗浄座学（指揮能力養成課程）を実施しました。